

# 千種の住宅



玄関上部とライブラリーの天窗より光がさし、空間をつなぐ。



高さの異なる居場所をつなぐブリッジ状の階段。

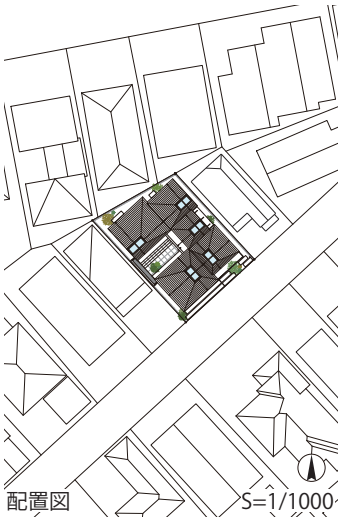


天井高を抑え陰影に富む落ち着きのあるSecLと奥の寝室。

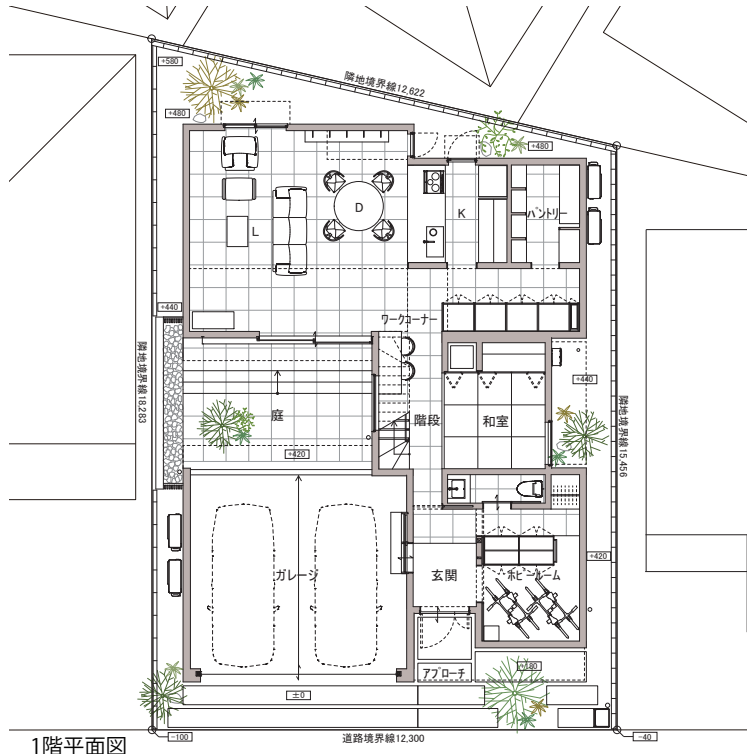
自然の中で、その日の天気や気分と相談しながら居心地の良い場所を見つけるように、自らの感覚を頼りにその時々のご過ごし方を選択できることが、暮らしの快適性につながるのではないか。

敷地は中低層の住居が密集する小高い丘の裾野に位置する。庭を囲む5つの異なるボリュームからなるこの住宅は、それぞれが異なる勾配の屋根と天窗を持ち、1日の光を多様なグラデーションに変換して届ける。外部環境を抽象化して映し出すこの不均質な光の状態によって、多様な居場所をつくり出す試みである。また、敷地の微地形に呼応するフロアレベルと、光と風の通り道である吹抜を設け、要望である防犯とプライバシーを確保するとともに、空間のつながりをつくり、視線の飛距離を伸ばすことを意識した。家族の生活の場としての住宅を、風景を成す自然のフィールドと捉え、住宅に欠くことのできない自然光の現象が、空間に奥行を加える。

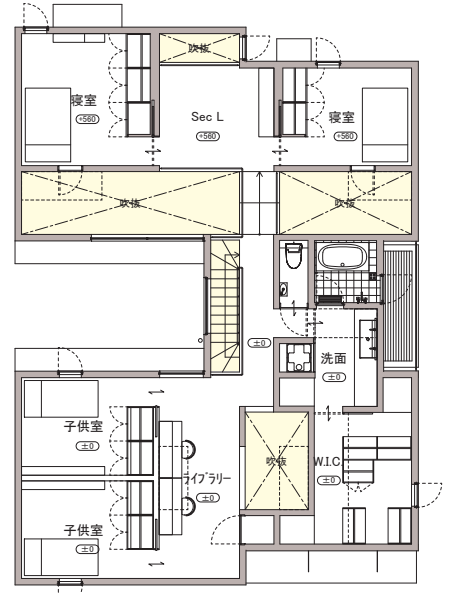
住宅にはライフスタイルや価値観の変化に対応できる、柔軟な空間の確保が益々求められるが、同時に建築を使う私たちの感受性も研ぎ澄ませる必要がある。人間が持つ、環境に対する敏感さを、再認識することのできる居場所となることを期待している。



配置図 S=1/1000



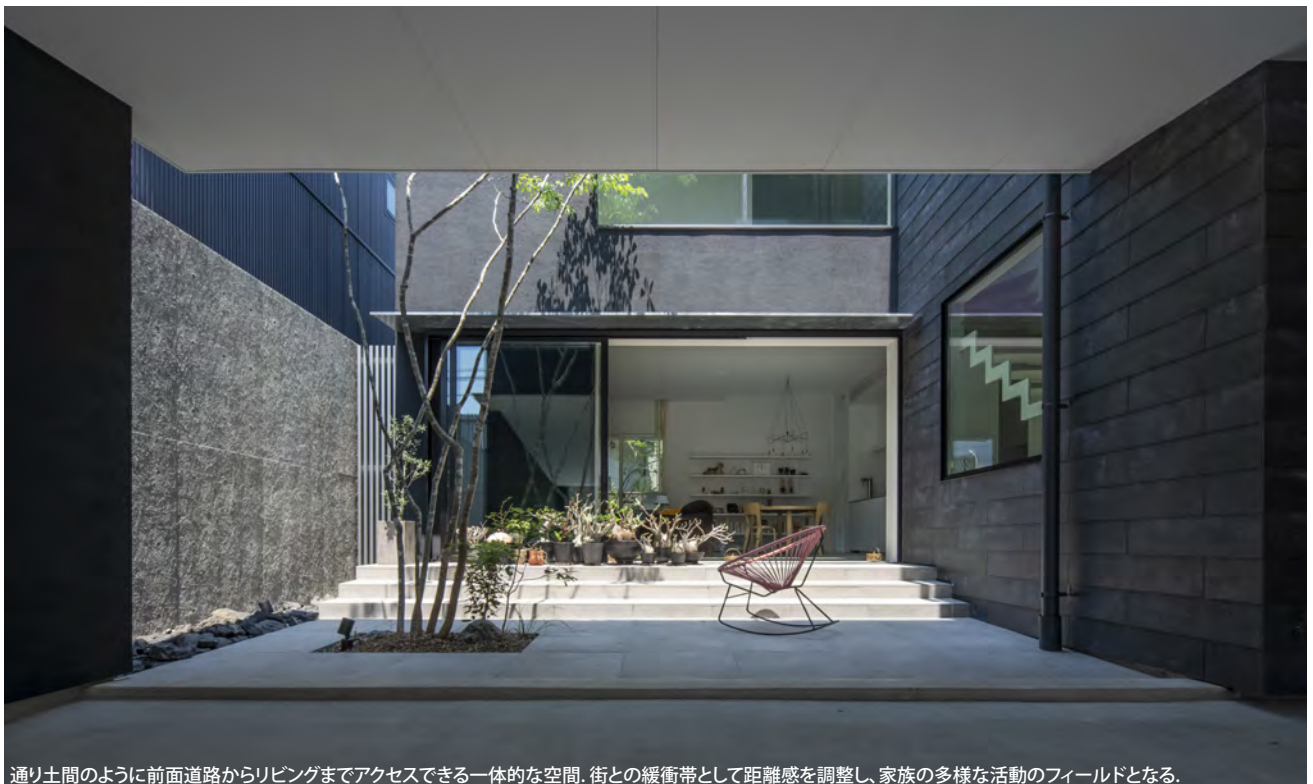
1階平面図



2階平面図 S=1/200



約7.5Mの天井頂部にある天窗より、吹抜を介して光や風を室内へ取り込む。



通り土間のように前面道路からリビングまでアクセスできる一体的な空間。街との緩衝帯として距離感を調整し、家族の多様な活動のフィールドとなる。

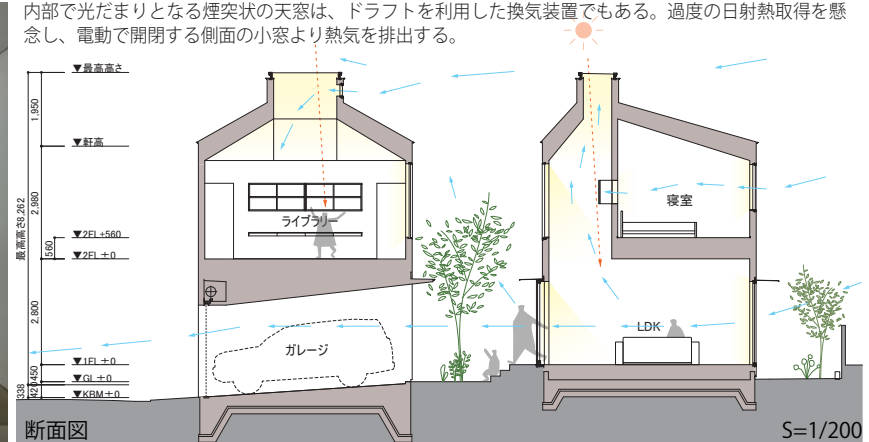


用途：一戸建ての住宅  
階数：2階建て  
構造：木造  
敷地面積：207.49㎡  
建築面積：122.55㎡  
1階床面積：120.90㎡  
2階床面積：98.12㎡  
延床面積：219.02㎡

鳥瞰



心地よい陰影が包む和室から庭を見る。



断面図

S=1/200